

E125	複合領域科目2-99(ダイバーシティ社会における「支え合い」を考える)		
英名科目名	How should we support people with disabilities in a diverse society?		
大学名	同志社大学		
連絡先	文化情報学部・文化情報学研究科事務室 TEL: 0774-65-7610 FAX: 0774-65-7618		
担当教員	阪田 真己子(文化情報学部教授) 梶山 玉香(法学部教授) 河西 正博(スポーツ健康科学部助教) 日下部 隆則(嘱託講師) 土橋 恵美子(嘱託講師)		
開講期間	2021年09月27日(月)~2022年01月24日(月) 6講時 18時25分~19時55分(毎週月曜日) 休講 2022年01月03日(月)、2022年01月10日(月・祝)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	月曜日 6講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	今出川キャンパス		
授業定員	100		
単位互換生定員	25	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	<p><成績評価基準> 平常点(出席, クラス参加, グループディスカッションへの参加, コメントシート等) 50% 議論への積極的な参加度, 出席を重視する。</p> <p>期末レポート試験・論文 50% 講義内で得た知識を自己と関わらせて深めることができたかを評価する。 授業ではグループディスカッションや発表を頻繁に行う予定である。また, 毎回の授業でコメントシートへの記入を求める(オンライン参加の場合はオンライン上での提出)。グループディスカッションへの参加状況やコメントシートへの記入内容は平常点の評価に含める。</p>		
超過時の選考方法			
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p><講義概要> 2016年の障害者差別解消法の施行や, 2021年(開催予定)の東京パラリンピックを前にして, 障がい者/学生を取り巻く環境は確実に変化の兆しを見せている。このような社会の機運が, 高等教育機関における障がい学生への「支援」のあり方にも大きな影響をもたらしたことは言うまでもない。 他方, 本学における障がい者との関わりは, 新島襄の志に共感して同志社英学校設立に貢献した視覚に障がいがあり脚も不自由であった山本覚馬に遡る。そして, 後に社会福祉のパイオニアとなる山室軍平の入学やヘレンケラーの来学など, 連続とその関わり合いは受け継がれ, 2000年には国内の高等教育機関における障がい学生支援の嚆矢となる「障がい学生支援制度」を発足させた。 本講では, このような社会的背景と本学のあゆみを踏まえ, 障がい者/学生自身, およびそれを取り巻く人と環境を「ダイバーシティ(多様性)」の視点で包括的に捉えることにより, 現代社会において実現すべき「支える」「支えられる」関係, すなわち「支え合い」の持つ意味と課題を考える。同時に, 本学が標榜する「人ひとりは大切なり」の理解にもアプローチする。 なお, 本講ではグループディスカッションによる気づきの交換や学び合いを重視するので, 授業への出席はもとより, 積極的な授業への参加を受講資格とする。</p>		

<到達目標> ・障がい者(学生)を取り巻く状況・実情を踏まえつつ, ダイバーシティの視点から「支え合い」の意味と課題を理解できるようになる。 ・「支え合い」の手段としての「コミュニケーション」に着目し, 障がい体験によって支援する人/される人双方の立場から, 「支援」のあり方について多角的に考察できるようになる。 ・主体的な学びを起点として, 多様な他者・社会に対して包括的に課題解決に向かう姿勢を持つことができるようになる。	
講義スケジュール	
<p>第01回 ガイダンス ダイバーシティとは何か</p> <p>第02回 高等教育機関における障がい学生支援 日本の障がい学生支援の法整備の到達点について</p> <p>第03回 高等教育機関における障がい学生支援 同志社大学の障がい学生支援制度の20年について</p> <p>第04回 「支え合い」を考える 聴覚障がいおよび視覚障がい体験とディスカッション</p> <p>第05回 「支え合い」を考える 肢体不自由体験とディスカッション</p> <p>第06回 「支え合い」を考える 障がい体験を踏まえて得た知見のレビューとディスカッション</p> <p>第07回 「支え合い」を考える 社会における支援の事例の考察とディスカッション</p> <p>第08回 「支え合い」を考える 企業における障がい者支援の事例の考察とディスカッション</p> <p>第09回 「支え合い」を考える 「障がい」の考察を踏まえたグループディスカッション</p> <p>第10回 「支え合い」を考える 障がい者スポーツにおける「障がい」を考える</p> <p>第11回 「支え合い」を考える 障がい学生/支援スタッフの事例紹介とクロストーク</p> <p>第12回 「支え合い」を考える 障がい学生/支援スタッフの事例紹介とクロストーク</p> <p>第13回 コミュニケーション 自分の中の気づきや変化についてグループディスカッション</p> <p>第14回 コミュニケーション 本講義で得た知見についてグループディスカッション</p> <p>第15回 授業内評価</p>	
最終的な授業進行予定(確定版)については, 初回授業にて配布, 説明する。	
本授業は教室で対面授業を実施する。詳細については, 講義開講前にe-classを通じて連絡する。 毎回の授業で「グループディスカッション」を課すので, グループディスカッションに参加をすることを前提に受講すること。	
e-classへの登録を済ませること。e-classへの登録方法は学期が始まる直前に同志社大学文化情報学部より関係書類が送付されるのでそれを参照すること。	
教科書	授業に必要な資料は授業回ごとに教室(もしくはe-class等)で配布する。
参考書	<p><参考URL> http://challenged.doshisha.ac.jp/about/ 同志社大学学生支援センター 障がい学生支援室 (本学障がい学生支援室のHPです。) http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/index.html JASSO(独立行政法人日本学生支援機構) 障害学生支援 (「障害のある学生の修学支援に関する実態調査」など各種データが公開されています。) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/ko-utou/074/gaiyou/1384405.htm 文部科学省 (平成29年4月に出された「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」について)です。) http://www.pepnet-j.org/web/PEPNet-Japan (日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク) (聴覚障がい学生の修学支援に関する情報がたくさん掲載されています。)</p>